

【競技上の注意】

1. 競技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って全て5ゲームマッチで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を止める。
- (3) 大会使用球は、男子「KENKO」、女子「赤エム」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。
- (5) ベンチの利用については、選手間の距離を適正に確保する。
- (6) プレー中のハイタッチや握手等は行わない。

2. 進行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいペアが通路側(クラブハウス側)を使用する。次の対戦のペアは試合コート付近で待機する。試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (2) 棄権や選手変更の連絡は本部前に掲示するので、各ペアで確認をする。
- (3) 勝者のペアは試合終了後、速やかにジャッジペーパーを本部へ提出する。

3. 審判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。筆記用具は、各自で準備する。
- (2) 試合の開始・終了時の集合は、両ペアともにネットから1mの距離をとる。(審判も準ずる)
- (3) 各コート第1試合は進行表に記載されたペアが審判を行う。第2試合以降は敗者審判とする。
- (4) 審判はジャッジペーパーの選手名を確認の上、対戦を始める。
- (5) 試合終了後、勝敗及びスコアの確認をし、勝者にジャッジペーパーを渡す。勝者サイン及び握手は省略する。
- (6) 終了後、審判台下の除菌用品を用い、採点板等の除菌を行う。

4. その他

- (1) すべての引率責任者は、会場内では必ずIDカードを着用する。試合中のアドバイス(ベンチコーチ)は許可しない。引率責任者は、選手の健康に配慮する観点から試合をしているコート付近で観察することが望ましい。
- (2) 応援は禁止とする。また、部旗等の掲揚はいかなる場所も許可しない。
- (3) 公園内では、原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (4) C面側の屋根付きベンチは使用しない。
- (5) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (6) 選手、審判、引率責任者は水分補給・休養等しっかり取って、体調管理に留意する。体調不良者が出た場合は、速やかに本部(クラブハウス2F)へ連絡する。試合中の給水方法については、当日の状況を考慮するので、開会式(放送による)にて指示する。
- (7) 自分の試合が終了した選手は、審判終了後、引率責任者へ体調報告をし、速やかに帰宅する。会場内では健康観察及び事務連絡以外のミーティングは行わない。